

木之本小学校からの報告

活動団体名： 木之本小学校 環境委員会

活動人数： 12人（教員2名）

取組時間： 委員会の時間

調査内容 1回目：7月3日（月） 神社前の川

木之本小学校では、今年度は5年生5名・6年生5名の計10名で調査を行いました。2021年度から、調査地点を意富布良神社前を流れる用水路（赤川の支流）に定め、毎年観察を続けていくことにしました。この川は、意富布良神社の南側地点を東西に流れる用水路（赤川の支流）で、川の両側がコンクリートで固められており、天候によっては湧水することもある小さな川です。梅雨の時期でもあり、調査日には水流が見られました。

まずバケツに川の水を汲みとり、日陰に置いて水温計で水温を測りました。次に、上流と下流から同時に、手網を使い水草の下などを探って生物を採取していきました。採取と同時に、COD値の測定を行いました。事前に練習をしていたので、スムーズに測定することができました。採取した生物などはバケツに入れ、日陰に移動してからバットに移して同定していきました。



よく知っているサワガニやザリガニ、初めて見るガガンボの幼虫などの多くの生物が見つかり、隊員たちは注意深く観察していました。

調査員の感想

【環境日記（5年・男児）】

コンクリートの川なのにザリガニやサワガニがたくさんいました。エビや貝もたくさんいて、意外でした。

【環境日記（6年・女児）】

雨の後で流れが少し激しく、きれいな水に見えました。けれど、水質階級はⅡだったので、しっかり水質調査をしないとけないと思いました。

捕まえた生き物たち

川では、様々な指標生物を見つけることができました。サワガニやガガンボ類、シジミ類、ウズムシ類、カワニナ、その他としてスジエビやアメンボ、アメリカザリガニなど、多くの生物を観察することができました。水質階級「Ⅰ」から水質階級「Ⅲ」までの、広い階級で生物が見つかりました。

調査のまとめ

見た目がきれいな川でも、生物指標によると、実際のきれいさがわかり、水生生物調査の意義を実感できました。

木之本小学校では、2021年度から調査場所を1か所に絞り、経年変化を考察しています。前回の調査で「Ⅰ・Ⅱ」だった水質階級が、今回の調査では「Ⅱ」という結果が得られました。また、COD値も、昨年度までの「2～3」から「6～7」と大きく数値が上がりました。

見た目がきれいな川でも、生物指標によると、実際のきれいさがわかり、水生生物調査の意義を実感できました。今後も調査活動を通して水環境の変化を注意深く観察し、環境委員会の取組から各学年・全校への取組に広がるように働きかけていきたいです。



活動の様子



【パックテストの事前練習】



【太鼓橋付近】



【採取の様子①】



【採取の様子②】



【採取の様子③】



【スジエビ】



【サワガニ】



【アメリカザリガニ】

